



「逆ピラミッド型組織図」は、自ら考え行動できる自律人間を輩出していくことが目的です。「ねむぎ」では店長が経営者として、経営指針も店長が決め、現場は店長が中心となって運営されています。店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。



「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

経営理念の具現化を目的とした価値前提へ

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

働く仲間の幸せと顧客満足を追求

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。

「ねむぎ」は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。また、店長は、現場で働く社員をサポートする役割を担っています。また、店長は、現場で働く社員を「すべてさん」として、付けで学び、伸びるという考え方を大切にしています。



編集長インタビュー／横岸榮治 株式会社フードサービス代表取締役社長

「仕組みをつくり、人をつくり、1単1店の出店ペースで事業を拡大してきました。今後の事業展開をお聞かせください。」

横岸 日本は狂牛病との後に「メモリカ」でもあって、2度うちが引つくり返すかという懸念があります。いま思うと当社を度々紹介してくれた海風で、牛、他口のピンチもそれがあったからこそ仙台から東京に私を出してくれました。ピンチがチャンスですから、ピンチを起機に第2ブランドの立ち上げを計画しています。いまのピンチは肉の価格高騰です。狂牛病以来のピンチですが、人間には思慮なもので、ピンチにならざるを得ず、牛から初めに見えてくるのです。牛タンはそのまま売らずに少し伸ばしていきませんが、経営してはリフトアップしなくてはなりません。考え方も客層も肉でも肉でありますが、肉はみんな肉なのですが、日本にはまだ1店もない店を準備しています。

お客様と常に第1ブランドの展開を期して、それは最低でも100店ほどを東京、横浜に出す方針です。や

はり少子高齢化を止め、課税要因を減らさんと東京エリアを離れて地方に出る気持は私にもはありませぬ。鹿児島は第10号を目指すべきです。一つ質問しますけれども、日本で2番目に高い山はどの山ですか。

「そう聞かれると、ごいでしやう。」

横岸 一番にお客様にはわからないのです。その時に、どの分野でどの地域でというのではありません。私は1300万人の東京と人口320万人で日本第2の都市である横浜でターゲットを自指します。商品政策も出店戦略も「パー」方式で展開しましたけれども、もう一つ、ランチメニューには3倍の値もありません。

「最先端は意味がないのですよ。1位2位の間に3倍差と、量的に差が効かなくなります。細かく言うと新垣で3倍になっているから、池袋で3倍になっているから、札幌で3倍になっているから。そして、東京、横浜全体でそうになっているから、3倍の法則は正しいわけが、1地域です。それを教科書通りに業態に取り組むのみです。」